NO BOOK, NO LIFE!!

静岡県立浜松湖北高等学校図書館通信　VOL.10　R6.1

新たな年の幕開けとともに、大きな災害や事故が発生しました。降りかかる災禍を前にして、無力感を覚える人も多いのではないでしょうか。
災害史の本を読むと、人はつらい状況をみんなで分かち合い、割り勘にして幾多の苦しみや悲しみを乗り越えてきたことがわかります。
泣き合い、笑い合い、寄り添い、分散し合いましょう。少しでも、視点の座標軸を「つらい今」ではなく、乗り越えた先にある「明るい未来」に移しましょう。

2024　辰　年　本

『竜とそばかすの姫』　細川守著
　高知で父と暮らす17歳の高校生のすず。幼い頃に母を事故で亡くし、現実世界では心を閉ざしていた。ある日、インターネット上の超巨大仮想空間であるUに「ベル」というアバターで参加する。ずっと秘めてきた比類なき歌声で瞬く間に世界中から注目される歌姫となったベルことすずは、「竜」と出会う。孤独な竜との出逢いをきっかけに、すずは自分の中にある迷いや弱さと向き合っていく。

『竜になれ馬になれ』　尾崎英子著
　小学校6年で将棋部の玻璃は、小児脱毛症になり、二学期からウィッグを着けて登校している。友達にバレないか不安で、しかも、かゆい。そんな時、将棋を指せるカフェをみつけた。店主で元女流棋士の夕子さんは、「日常に組み込まれていない場所」がほしい時もある、と言ってくれた。カフェでの時間で、玻璃は心を落ち着かせることができるようになっていく。

『龍の墓』　貫井徳郎著
　二つの殺人は、人気VRゲーム「ドラゴンズ・グレイブ」の中で発生する連続殺人の見立てではないのか？一見、何の繋がりもないように思えた二つの事件だったが、やがてその噂を看過できなくなるような事態へと発展していく。仮想の世界で生きる時代も、惨劇は繰り返されるのか。VRツールが日常に浸透したすぐ先の未来を舞台に描く特殊設定ミステリー。

『ドラゴンの塔』　ナオミノヴィク著
　東欧のとある谷間の村には、奇妙な風習があった。100年以上生きていると言われる魔法使いドラゴンによって、10年に一度、17歳になる娘が一人選ばれる。10年経って塔から出てきた娘は、まるで人形のようになるという。アグニシュカは平凡でなんの取り柄もない自分が選ばれることはない、と思っていた。しかし、ドラゴンに指名されたのは、アグニシェカだった。

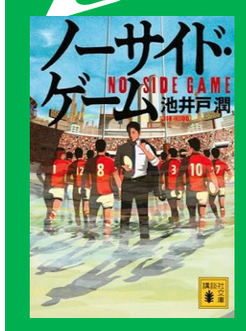
新春恒例　本の福袋

　『福』にちなんだ本を、図書委員が選んで服袋に詰めました。どんな本が入っているのかは開けてみてからのお楽しみです。いつも自分では選ばない本や、本棚を見過ごしていて目に留まらなかった本。そんな本との出会いになるはずです。

　本の福袋を作っていて、図書館の中には『福』を得られる本がたくさんあることに気がつきました。どんな人が手に取るのか、想像しながら二冊を選んで入れてあります。読み終わって『福』を感じてもらえたら、とてもうれしいです。返却は通常の貸出しと同じ一週間後までにお願いします。２２HR　茅野　桃

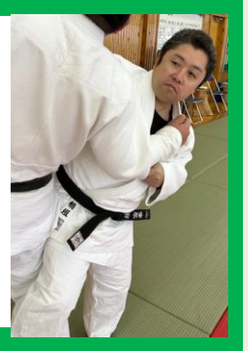
先生のお薦め本

　長らく部活を率いて下さっていた先生方に代わって柔道部・剣道部・野球部のNEO-顧問となった三人の先生方のお薦め本を紹介します。専門とする競技とは別の分野の本をお勧めしてくださった先生方でもあります。NEO（次世代）な感覚で多角・多様な知識や情報を様々な分野の本から得る機会にしてみてください。



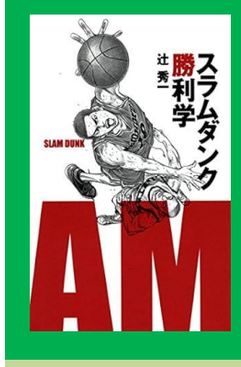
稲垣 宣泰先生のお薦め本　「ノーサイドゲーム」池井戸潤

　大手自動車メーカーのエリート社員だった君嶋隼人は、大型案件に異を唱えた結果、横浜工場の総務部長に左遷させられる。同社ラグビー部アストロズのゼネラルマネージャーを兼務することになったが、かつて強豪として鳴らしたアストロズも、いまは成績不振に喘ぎ、鳴かず飛ばずのチームとなっていた。緊張感あふれる試合描写や、登場人物の挫折を乗り越えていく心理、友情や家族の絆等、読み進めていく中で自分自身を鼓舞する爽快な小説です。



藤原 和臣先生のお薦め本　「勝負哲学」羽生善治　岡田武史

　熾烈な勝負の世界で勝ち続けること。身を斬り、骨を削るような厳しさにさらされながら、勝負の綾や不条理、怖さを知り尽くしてもなお勝負に挑みつづける勝負師たち。彼らが見ている世界、そして戦いに挑む流儀とはどんなものか。日本のサッカーを世界のベスト１６まで導いたサッカー界きっての勝負師・岡田武史氏と、稀代の天才棋士と呼ばれる羽生善治氏。サッカーと将棋、それぞれの戦いにおける、勝負勘の研ぎ澄ませ方、勝負どころでの集中力の高め方、そしてメンタルの鍛え方それらを読んでみてください。

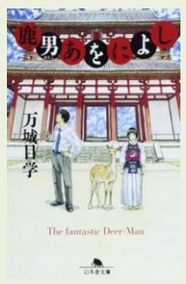


吉川 勇海先生のお薦め本　「スラムダンク勝利学」辻　秀一

　昨今、スポーツに対する根性論は大きくシフトチェンジしつつあります。しかし、根底にある勝利の方程式は、スポーツをする意義に欠かせないものでもあります。伝説のバスケ漫画からそれらを教える本作は“勝つための心理学”であり、スポーツのみならず打ち込む目標がある人へ勇気・やる気を与えてくれます。勝利をつかむためには、根性だけでは足りない。正しい考え方を身に付けるためのヒントを桜木花道をはじめとするスラムダンクのキャラクターの名言と共に探っています。

第170回直木三十五賞　万城目学特集

　第170回直木三十五賞の選考委員会が2024年1月に開催され、候補作品の中から河﨑秋子さんの「ともぐい」と万城目学さんの「八月の御所グラウンド」が授賞作に決まりました。本校図書館でも人気の万城目学さんは、６回のノミネートを経ての受賞となりました。『鴨川ホルモー』『プリンセス・トヨトミ』などの、実在の事物や日常の中に奇想天外な非日常性を持ち込むファンタジー小説で知られ、若い世代の日常を身近に描いた物語で人気です。映像化された作品も多く、『万城目ワールド』に皆さんも触れた機会があるのではないでしょうか。



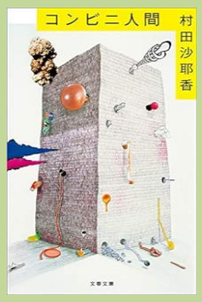
「鹿男あをによし」
　「おれ」はひょんなことから大学の教授に勧められ、2学期の間限定で奈良の女子高の教師になる。しかし、生徒にからかわれたり、無視されたりとコミュニケーションが取れず、途方に暮れる。そうして迎えた10月。奈良公園の大仏殿裏にいた「おれ」の前に突如鹿が現れ、人間の言葉で話しかけてきたのだ。実はその鹿は1800年前から人間を守りつづけてきた存在で、60年に1度行われる「**鎮めの儀式**」で用いる**目**を運ぶ役（「運び番」）に「おれ」を任命する。

「鴨川ホルモー」
　二浪して京都大学への入学を果たした新入生・安倍は、葵祭のエキストラのアルバイトの帰り、やはり京都大学の新入生である高村と「京大青竜会」というサークルに参加するが、やがて安倍たちは、自分たちが京都を舞台に鬼や式神を使って争う謎の競技「ホルモー」で戦うために集められたことを知らされる。半信半疑の安倍たちであったが、吉田神社での儀式を終え、自らの目で「鬼」たちを見るに至り、否応なくホルモーの世界に引き込まれることとなる。

「悟浄出立」
　勇猛な悟空や向こう見ずの八戒の陰に隠れ、力なき傍観者となり果てた身を恥じる悟浄。ともに妖魔に捕えられた日、悟浄は「何も行動せず、何も発言せず」の自分を打ち破るかのように、長らく抱いてきた疑問を八戒に投げかけた。中国古典の世界を縦横無尽に跳び、人生で最も強烈な“一瞬”を照らす五編。

第　三　回　ビブリオバトル　報　告

　今年度最後のビブリオバトルは、前回チャンプの２７HR松﨑紫音君に１４HR弓桁煌仁君が挑戦しました。１年生ながら堂々としたバトルぶりと、本の内容がうまくマッチした弓桁君が勝利しました。部活や生徒会で忙しい中、バトラーとして参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



『なぜか話しかけたくなる人、ならない人』有川真由美著
　「話しかけたくなる人」と「ならない人」、一体なにが違うのでしょう？　じつは、決定的な違いがあります。とても簡単なことですが、人から話しかけられる人は、話しかけてもよさそうな〝なにか(理由)〟をもっているから。ちょっとした表情、言葉やリアクション、振る舞い。 そんな具体的な〝なにか〟を知って、少し行動を変えるだけで、あなたもその瞬間から「話しかけたくなる人」になることができます。

『コンビニ人間』村田紗耶香著
「普通」とは何か？36歳未婚、彼氏なし。コンビニのバイト歴18年目の古倉恵子。日々コンビニ食を食べ、夢の中でもレジを打ち、「店員」でいるときのみ世界の歯車になれる。「いらっしゃいませー!!」お客様がたてる音に負けじと、今日も声を張り上げる。ある日、婚活目的の新入り男性・白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしい、と突きつけられる。

読書スタンプラリー結果報告

　２年生の読書スタンプラリーの結果を報告します。先生のお薦め本５冊貸出のゴールを目標として、大勢の皆さんが参加してくれました。先生方のお薦め本は高校時代に読むことで、今後の糧になるような本ばかりでした。

２１HR　参加者３２人　GOAL　２１人
２２HR　参加者３５人　GOAL　２８人
２３HR　参加者３３人　GOAL　１２人
２４HR　参加者３５人　GOAL　２１人
２５HR　参加者３５人　GOAL　１８人
２６HR　参加者２８人　GOAL　１９人
２７HR　参加者３２人　GOAL　２２人
２８HR　参加者２６人　GOAL　２４人

歌　会　始

　新春恒例の「歌会始」が１９日、皇居で行われました。お題は「和」全国と海外から合わせて１万5000首余りの短歌が寄せられました。皇居・宮殿の「松の間」では、初めに入選した10人の歌が天皇皇后両陛下や皇族方の前で古式にのっとって披露されました。「歌会始」は、新春の宮中の伝統行事で、毎年この時期に天皇が定めたお題で行われていています。元旦早々、多くの人が心を痛めた大きな災害に対して人々の想いを詠んだような小池弘実さんの一句が心に響きました。

目を瞑り一分間を祈るとき皆が小さき平和像なり

京都府　小池弘実さん（21）

3年生の貸出・返却について

・*最終貸出日*・・・2月６日（火）・最終返却日・・・2月13日（火）

・*3年生　多読者の皆さん*
３４HR戸田賢典さん　３８HR井上真翔さん　３２HR花島結衣さん
３１HR鈴木捷翔さん　３１HR馬渕森さん　33HR村田弥由里さん
34HR馬場澪果さん　３２HR岡田拓巳さん　35HR北嶋爽良さん　３６HR樋田廉さん

在校中の図書館利用、ありがとうございました。
卒業後もたくさんの本を読んでください！